

令和2年度学校評価報告書

北海道教育委員会教育長 様

北海道訓子府高等学校長
大槻 健 治 印

次のとおり令和2年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 授業の魅力化に取り組み、自ら学ぶ意欲の向上と進路実現を目指す。
- (2) 地域（特に訓子府中学校）との連携を図り、地域で活躍する人材の育成を目指す。
- (3) 【※育成すべき資質能力】を身に付けた生徒の育成を目指す。
※基礎学力、思考力、自己表現力、主体性、課題対応力、傾聴力、自己管理力、協働性
コミュニケーション能力
- (4) 様々な手法やメディアを駆使した情報発信を目指す。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・育成すべき資質能力の育成に向けた組織的・計画的な教育活動を展開している。 ・学校安全の確保や施設設備の適切な管理等、教育環境の充実が図られている。 ・家庭や地域との連携や、HP等による積極的な学校情報の発信により、地域に開かれた学校づくりを推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針に則った形で様々な指導が進められており、今後も精力的な学校運営を期待している。 ・学校安全に努め、学校設備を有効に活用した授業が展開されている。 ・さらなる地域や地元の中学校と連携した取組の充実を期待している。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育及びふるさと教育等の充実を図り、育成すべき資質能力の育成を推進する。 ・学校評価による教育活動の工夫・充実を図るとともに、情報発信について工夫・改善する。 ・地域及び保護者や同窓会との連携を深め、より一層魅力ある学校教育を推進する。 	
教育課程 ・ 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様な進路実現を目指す教育課程の編成と、その工夫・充実が図られている。 ・公開授業週間や生徒による授業評価を通じて、魅力ある授業が展開されている。 ・コロナ禍において授業時数の確保及び学校行事の充実にも努め、学びの保障に向けた取組を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を達成するために教育課程の円滑な運営が実践されている。 ・言葉の掛け方や教材等が工夫され、分かりやすい授業が展開されている。 ・様々な学力層の生徒への指導が習熟度別指導や少人数指導等の工夫によって学習の質を高めている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化及び教科横断的な学習の推進に努める。 ・様々な言語活動や体験学習、ICTを取り入れた授業等の工夫・充実にも努める。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における健康カードの記入や感染症対策への主体的な取組を通じて、健康や命を大切にすることを育成している。 ・保護者や外部関係機関との連携を深め、個に応じた指導や対応が行われている。 ・生徒会行事及び委員会活動を通じて、自己の役割や責任を果たす態度を育成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒へのきめ細かな指導により、基本的な生活習慣の確立や健康安全の意識の向上、規範意識の醸成が図られている。 ・落ち着いた環境の中で、個に応じた丁寧な指導が行われている。 ・生徒会行事や部活動の活性化について、今後もより一層の工夫・改善を期待している。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理意識の保持とともに、新しい生活様式に基づいた生活環境を整備する。 ・地域社会との積極的な交流を図り、豊かな心の育成に努める。 ・生徒会活動や部活動の成果や課題を整理し、合理的かつ効果的な指導の充実を図る。 	
進路指導 ・ キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の進路シラバスを活用し、効果的な進路指導が実施されている。 ・外部団体や地域と連携し、様々な進路活動を通じて生徒の進路意識の醸成を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の進路希望に応じたキャリア教育の工夫や充実が図られている。 ・職業体験や公務員講習等、地域や外部と連携した進路学習が行われている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き進路シラバス運用上の課題点を整理し、一層の工夫・改善に努める。 ・キャリアパスポートの効果的な活用及び個々の進路実現に向けた指導体制の整備に努める。 	

公表方法 : 学校HP及び学校だよりに掲載し地域住民に公開する。

3 添付資料

- 1 令和2年度学校評価（教職員・生徒・保護者・学校関係者） 2部
- 2 令和2年度第3回CS高校部会議事録 2部

